ー にいがた青年海外協力隊を育てる会 会報紙 ー
The News Letter of The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

なじらね.jp 秋

なじらね
どっとじぇーぴー

平成 29（2017）年 10 月 30 日（月） 発行 - 第 18 号 -

【発行人】「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 羽賀 友信 ／ 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA
【事務局】〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500 , Fax. 025-234-1002 , E-mail n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://n-sojocv-najirane.com
【題 字】藤田 美枝子（桃水） （※「なじらね」とは，新潟弁で「元気ですか？」の意味）
【編集人】広報文化専門委員会 山田 規央

The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

- NAJIRANE Headlines -

【巻頭言】「なじらね. jp」第18号の発行に寄せて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
【壱】平成29年度（第9回）総会の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【弐】本県出身JICAボランティア（JV & SV）が任国へ赴任！（平成29年度1次隊） ・ 3
【参】本県出身JICAボランティアによる近況報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 - 6
【四】体験活動を重視した授業実現に向けて
～ 新潟よりリコーダー寄贈のサポートを受けて ～ ・・・・・・・・・・・ 7
【五】講演会「メディアが伝えないミャンマーのいま」ご案内 ・・・・・・・・・・ 7
Information，壮行会&慰労会，広告，編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

にいがた青年海外協力隊を育てる会 検索

公式ホームページ随時更新中！ *Check it out !!*

【巻頭言】 「なじらね.jp」第18号の発行に寄せて

当会 顧問（ 新潟県議会議員 ）
星野 伊佐夫（ほしの いさお）

青年海外協力隊を育てる会は，民間の立場で広く国民に青年海外協力隊事業への理解を求め，協力隊事業に対する民間の支援の輪を広げていくことを目的とし，青年の海外ボランティア活動によって，国際協力の輪が限りなく広がることを願いつつ，その活動を支援しております．

多くの青年海外協力隊員が，開発途上国の首都から遠く離れた地域で現地の人たちと同じ生活をしながら活動を続けております．2年間にわたる海外での経験により，柔軟な思考と積極的な行動力を身につけて帰国した隊員たちは，日本社会の素晴らしさを再認識し，失ってはならない日本の大切な価値観を守るとともに，より良い日本となるよう活動を続けております．青年海外協力隊員は，これからの新しい日本の未来を拓いていくために重要な任務を果たす人々であります．

私たちは，協力隊に参加しやすい社会環境を創り，もっと多くの若者を海外へ送り出していく所存です．これまでも，育てる会は壮行会の開催や帰国後の進路支援などを行ってきておりますが，今まで以上に青年海外協力隊事業が広く理解され，県民の皆様に支援していただけるよう，活動の輪を広げていかなければならないものと考えております．全国の育てる会と連携を図りながら，地元の自治体や経済界をはじめとする様々な分野の人々にお声がけを行うとともに，地域の特性を活かしながら，より良い国際社会と地域社会の発展に向けて，市民レベルによる活動を広げてまいりたいと存じます．そして何よりも帰国した隊員本人はもとより，周囲の人たちも皆が「協力隊に参加してよかった」と思うような活動を展開していきたいと思います．海外生活で体験し，取得した広い視野と積極的な行動力をもって，日本の未来を切り拓く若者が多く育つことを祈念しております．

微力ではありますが全力を尽くしてまいりますので，今後とも皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます．

【壱】　平成29年度（第9回）総会開催の報告

去る6月17日（土）15時より新潟会館において，「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第9回総会が開催されました．議事の内容は昨年度の活動報告及び決算報告，今年度の活動計画と予算を審議して頂きました．来年度は当会が発足し10年の節目の年になることから，会長の提案で，新潟県出身隊員の帰国後の活躍を紹介する冊子を作成し，会の啓発も図っていこうということになりました．11月にはOB会と共催でミャンマー事情に精通したフォトジャーナリストの宇田有三さんの講演会を開催します．また，昨年度も実施したグローバル人材セミナーを今年度も他の事業とコラボで実施したいと考えています．

第2部の一般公開講演会では，「野毛坂グローカル」共同代表で青年海外協力隊OBでもある奥井利幸さんに「日本での地域コミュニティー活動のスタートアップ事例～途上国経験を踏まえて～」というテーマで講演して頂きました．

第3部のJICAボランティア活動報告会では，好例の現役隊員によるスカイプトークとして，スリランカに派遣中の伊藤悠理さん（H28-2／ラグビー）とつないで現地から報告をして頂きました．続いて帰国隊員の山田葉子さん（H26-3／看護師／ウガンダ）から帰国報告して頂きました．

第4部の懇親会はH29-1新隊員2名の壮行会を兼ねて多くのOBや会員に参加して頂きました．

最後に，引き続きライオンズクラブやロータリークラブ，青年会議所等の例会での講演をするにあたり，是非クラブをご紹介して頂きたくお願いします．また，広告協賛社を募集しており，1年間「なじらね.jp」と当会ホームページに広告を掲載し，たったの1万円です．「なじらね.jp」バックナンバーをご覧頂き参考にして下さい．

（文：横山 容司郎 ／ 写真：山田 規央 ）

会長挨拶

総会

講師の奥井さん／聴衆に鋭く聞き込み！

聞き入る参加者の皆さん

伊藤隊員がスカイプ出演！交信トラブルも･･･

山田OGが帰国報告

カンパ～イ

キッズ協力隊も大活躍！

【弐】　本県出身のJICAボランティア が任国へ赴任！（平成29年度1次隊）

本県出身の平成29年度1次隊(H29-1)新隊員2人(ともに青年海外協力隊; JV)が6月下旬にそれぞれの任国へと出発しました. 新隊員は訓練所での約70日間の派遣前訓練終了後に本県に帰郷し, 6月21日に新潟県庁および新潟県国際交流協会等に表敬訪問を行ないました. 尚, 3月下旬に派遣された平成28年度4次隊(H28-4)には, 本県出身隊員はおりませんでした. この2隊次に併せ, 直近に帰国していた本県出身隊員も, 帰国報告を行ないました.

また, 毎回恒例の新隊員壮行会＆帰国隊員慰労会を新潟県青年海外協力協会(JOCA新潟)と共催で実施しました. 当会としては, 任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます.　表敬訪問に参加した各隊員を紹介します.

新隊員（H28-4）	任国	職種
JV　（なし）		

帰国隊員（1月帰国）JV：H26-3　阿部 春香 さん（インドネシア共和国 ／ 料理）
三国 浩史 さん（タンザニア連合共和国 ／ コンピュータ技術）

新隊員（H29-1）		任国	職種
JV	①土田 千歳 さん	ドミニカ共和国	コミュニティ開発
	②渡邊 希美恵 さん	セネガル共和国	数学教育

①彼らが健康で, より豊かな生活が送れるように, 看護師の経験を活かして彼らと協働していきたいと思います.

②アフリカで過ごす貴重な1年9ヵ月間, 一日一日を大切に, 体を大事に過ごしていきたいです. 楽しんできます！

帰国隊員（6月帰国）JV：H26-4　根立 早織 さん（パラグアイ共和国／看護師）

地図と国旗は「世界地図・世界の国旗」HPより引用 （ http://www.abysse.co.jp/world/index.html ）

（ 文 ： 山田 規央 ／ 写真 ： 横山 容司郎 ）

7ページ参照

11/23 公開国際理解講演会(入場無料)
「メディアが伝えないミャンマーのいま」
参加者募集中！　詳細は当会HPにアクセス☞

齋藤 芳子　Ms. Yoshiko SAITO , SV
（平成28年度2次隊／パナマ共和国／小学校教育）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

高層ビルが建ち並び，地下鉄が走る高級モールには買い物客の姿がひしめく，ここが果たして本当に支援が必要な国なのだろうかと一見疑いたくなるような首都・パナマシティですが，首都から一歩外に出れば景色は一変，北海道よりも小さなこの国ではいまだ電気や水道の通らない暮らしを強いられる奥地の村もあるというのが現実です．まばゆいばかりに発展していく都会と深く貧困が連鎖するインテリオル，この二つの両極端な側面をもつパナマは，一つの国として今後どのような道を歩んでいくのでしょうか．楽しみでもありちょっと心配でもあり，いろいろと興味深くパナマへの思いは尽きません．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

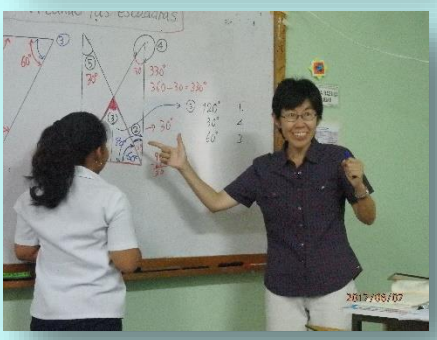
パナマを語る上で特記すべきことの一つとして国の人口の約10%を占めているという8つの先住民族の存在があります．彼らはそれぞれ固有の言葉・文化・習慣等を有しそれらを現在にも受け継ぎつつ一般社会とも共生しています．私の任地サンティアゴの町でも隣接するノベ族の人達が「ナグア」という民族服を着て歩いている姿をよく見かけますし，配属校の生徒も半数以上が先住民です．また国民の8割以上はローマ・カトリック教の信者であるため，国や地域を挙げての宗教行事（祭りやパレードなど）が年中相次ぎ，そのたびに学校は休みとなり人々はこぞってその行事に参加します．踊りが好き，お喋りが好き，フィエスタ（祭り）が好き，そして時間と約束には案の定無頓着?!（笑）・・・・・は他のラテン諸国と同様．「宵越しの金は持たない」習慣なのか，あらゆる階層おしなべて人々はちょこちょこ買い物するのが好き．とにかく皆さん日々人生を楽しんでいる気がします．

先住民・ノベ族の踊り

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

「**小**学校教育」という職種で国唯一の教員養成学校に配属されています．小学校算数学力の向上にむけ，将来小学校教員になっていくであろう学生に指導法の紹介・支援をすることが主な要請内容となっていますが，現実はそう容易ではなく指導法云々を語る以前にまずは学生そのものの基礎学力習得（かけ算九九の練習や分度器やコンパスの使い方の確認等）が必須な状況です．この学校に入学するための試験もなければ，また日本のように教員になるための特別な採用試験もないため循環する教育現状はかなり深刻といえます．

一方，教育省が提示する現カリキュラムは複雑困難で目の前の子どもたちの現状にまったく即していないため，現在は配属先における授業参加に加えてパナマの現カリキュラムの改訂を教育省に願い出るべく，カウンターパートとともに日本や近隣ラテンアメリカ諸国との比較などを基に課題点や改善点を洗い出しているところです．



教員養成課程での算数授業

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

教員養成課程の学生のクラスで簡単な小学校算数の内容で授業をやり始めた頃のある日，授業の最後で学生が「今日はよく考えた！」と満足気につぶやいてくれました．「考える」ということのおもしろさをほんの一時でも感じ取ってくれたんだなぁと思うとルンルン身体が軽くなった気がしたことを覚えています．

困った（ている）ことは，亜熱帯気候に皮膚が異常に敏感に反応してしまい，いつも体中のどこかしらに痒みが生じ，痒くない日がないこと．赴任1か月後には，ちょっとした虫刺されが悪化し，直径2センチほどの大きな水疱が両足首に3つも育って？しまうという恐怖に見舞われ2か月も皮膚科通いをしなければなりませんでした．

配属校と創立記念日マラソンで走る学生達

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

近隣県に派遣されている他の数学・算数教育ボランティアと協力しながら，現場小学校の教師を対象とした算数教育の基礎セミナーを計画立案中です．また，小学校算数カリキュラムの改訂実現に向けて教育省との交渉も"粘り強～く"続けていかなければと考えています．いずれの場合も「（シンプルで）分かりやすいこと」「確認すること」「続けること」を念頭に子どもたちの発達段階に即した指導の普及を目指して現地の先生や教育関係者と気持ちよく共働していければと思っています．

・・・と何だか偉そうですが，まずは「感謝」の心を忘れずに「健康第一」に過ごしていくことですかね，やはり．

山口 陽平　Mr. Yohei YAMAGUCHI, JV（OV）
（平成26年度4次隊／カメルーン共和国／コミュニティ開発）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

任地はカメルーン国の西部州のバレングゥという人口約8000人の村でした．標高1400メートルの山の中にある村だったので，乾季でも朝晩は涼しく快適に生活することができました．村人は皆私に対して優しく家族の一員のように接してくれて，私にとって第二の故郷のような場所になりました．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

インフラは整っておらず，停電は毎日のようにあり，水は谷底の水源まで汲みに行き，料理は薪で･･･というような生活が普通でしたが，村人はお互いに助け合って幸せそうに暮らしているのが印象的でした．主要産業は農業で，バナナやプランテン，キャッサバ，トマト，キャベツ，ジャガイモ，ヤムイモ，大豆など沢山の作物がありました．カメルーンには約250の民族がいると言われていますが，私の村はバミレケ族の地域で，伝統的な踊りや衣装，呪術なども残っていました．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

村人の現金収入の向上のための活動をメインで行っていました．具体的には，私の任地の地域で収穫できる原料を元に，地域の女性団体と協力してシアバターとシアバター入り石鹸の製品化と販売を行いました．カメルーンの富裕層や外国人観光客が販売のターゲットだったのでパッケージングを工夫してお洒落なものにしたり，カイゼン方式を使って製品品質の向上を目指したり，首都で製品を置いてもらえるお店の開拓や展示会への出展を行うなど様々な活動を実施しました．最終的には，最初初期投資で赤字だった売上を黒字化でき，順調に売上を伸ばすことができました．

首都ヤウンデの展示会にて団体長と
（活動で製造したシアバターと石鹸を出展）

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

辛かったことは，赴任当初に現地の人たちが約束を守ってくれなかったことです．時間が経つにつれて文化の違いだと理解し，慣れていくことができましたが最初は辛かったです．嬉しかったことは，活動の最後に現地の人々から感謝をしてもらえたことです．活動をしている最中は，自分の行っている活動が本当に現地の人々のためになっているのか不安で悩むこともありました．しかし，最後に沢山の人々からお礼の言葉を貰うことができて，自分の行ってきたことが間違いでは無かったと思うことができて嬉しかったです．

村で開催したセミナー（電気が無く小型発電機を使用）

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

今年の9月からロンドン大学の開発経済学修士課程へ進学します．サブサハラアフリカ地域の民間セクターの活性化を通じた経済開発について研究し，卒業後は国際協力の分野で活躍したいと考えています．

Republic of Cameroon

【さまざまな生活文化ルポ】第13弾

任国の“恋愛”

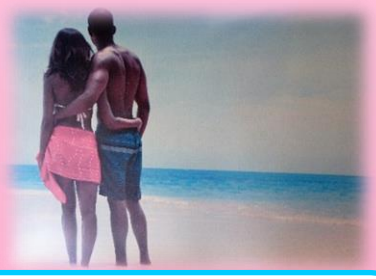
つかもと ゆめの
現地リポーター：塚元 夢野，JV
平成28年度1次隊
ジャマイカ
観光

ジャマイカはカリブ海にある亜熱帯気候の島国で，面積は新潟県より少し小さく，人口は新潟県より少し多いくらい．私は勝手に「新潟県くらいの国」と呼んでいます．では，恋愛文化に関しては，「新潟県くらい」と言えるでしょうか？

キーワードを挙げてご紹介します．

其之一 「婚カツ不要！」
日本の婚活市場について説明したところ，「日本にはそんなビジネスがあるのね！おもしろいけどジャマイカでは必要ない！」とのこと．ジャマイカ人は社交的で，バー・教会・ビーチなど街中どこでも見知らぬ人とコミュニケーションして交友関係を広げるので出会いに困らないようです．「出会いが欲しい日本人はジャマイカにおいで！」とのアドバイスを頂きました(笑)

其之二 「ナンパでギャルをゲット」
道を歩けば「ヘイ！セクシーだね，電話番号教えてよ．君のこと好きだよベイビー．」とナンパされます．我々外国人へだけでなく，ジャマイカ人同士でも同じこと．たまにナンパ成功して女の子の電話番号ゲットしている様子も見るので，一つの出会いの方法なんでしょう．



其之三 「ベイビーママ・ベイビーファーザー」
特に若い男性は自由に恋愛を楽しみたいという願望が強く，子供が生まれても結婚しないカップルが多いです．「妻・夫ではないけれど自分の子供の母・父」という意味でベイビーママ・ファーザーという表現があります．

其之四 「彼女何人いるの？」
複数の彼女がいる男性によく出会います．同僚のロワン(写真)は「子供が2人いるけど，それぞれ別の女性との子供だよ．今はまた別の2人の彼女がいて，2人ともお互いの存在を知っているけど，どちらも愛してうまくやってるよ．」とのこと．うーん複雑…．女子大学生曰く，「男は何人も彼女いたりするけど，女性は一途よ．私も彼氏は一人だけ．彼氏に私以外の彼女がいたら？もちろんぶん殴るわ！」とのこと．女性は強し！

其之五 「清く正しく」
おっと誤解しないでください！もちろん純愛を貫く人々もいます．同僚のクリフトン(写真)は敬虔なクリスチャンの家に生まれ育ち，婚前交渉なしという宗教上の教えを守って結婚しました．「来月には赤ちゃんが生まれるよ．ジャマイカにはいろんな恋愛のかたちがあるけど，家族との繋がりが一番大事だ．」という彼はすっかりパパの顔つきです♪

…いかがでしょうか？人の数だけ恋愛があり，数値化や平均化をするのは難しいですが「新潟県くらい？」と比べてみると，新しい発見があるかもしれません．

Love Affair Jamaica

～在りし日の故人を偲び，心よりご冥福をお祈りします～

【訃報】楚山 恭男(そやま やすお) 理事

6月26日(月)，逝去されました．
青年海外協力隊・柔道隊員としてケニア共和国で活動され(昭和52年度1次隊)，帰国後は接骨院を故郷の長岡市で営む傍ら，地元を拠点に柔道，ライオンズクラブ，国際交流等，多岐にわたり活躍してこられました．また，当会発会時には裏方としてご尽力頂き，理事として会の運営を支えて頂きました．　(合掌)

【訃報】廣川 俊男(ひろかわ としお) 理事

9月5日(火)，逝去されました．
青年海外協力隊・水泳隊員としてコスタリカで活動されました(昭和49年1次隊)．新潟産業大学で教員を経て学長を約6年間務め，在任中「ブルボンウォーターポロクラブ」の発足にもご尽力されました．
当会発足の際は発起人として役員の人選に大変ご協力頂きました．大学の学祭では毎回協力隊のコーナーを作って頂き，アピールの場を設けてくださいました．(合掌)

【四】　体験活動を重視した授業実現に向けて
～ 新潟よりリコーダー寄贈のサポートを受けて ～

「楽器を目にする，触れる機会を与えたい」 この想いから，派遣中に新潟の皆様にリコーダーのご提供をお願いすることになりました．簡単ではありますが，その後の活用の経緯をご報告致します．

2月-3月　募集（85本集まる）
4月上旬　一本一本清拭し，
　　82本を新潟から発送
5月中旬　現地に届く

表現芸術科目（Expressive Artsの授業）は，子どもたちが1番輝き・主体的に学び・互いに協力し，学び合う様子が伺える時間です．しかし，マラウイの学校現場では人手・スキル・教具不足など大人の様々な都合により，子どもたちの学ぶ機会が奪われてしまうことが日常茶飯事でした．特にExpressive Artsは，他の国・数・英の教科等に比べてもその頻度が高い現状がありました．

そこで私は，学校に来ることや学ぶことの楽しさを感じてもらうため，体験活動型の授業を重視し，その一環としてマタピラゾーン全体で合唱コンクールを開催しました．リコーダー活用では，5・6・7年生での音楽の単元を指導した際，**単元のまとめ・発展学習として「リコーダーに触る・吹く」**ことを位置づけました．また，教員のストライキ期間を利用してミニワークショップも行いました．これらの活動を通して，教員らの音楽に対する意識が上がり，楽器提供の要望があった学校や5S活動が定着していた学校にリコーダーを寄贈しました．残りは配属先であるマタピラ教師研修センターで保管し，希望に応じた貸し出しシステムを採用しました．

マラウイの子どもたちのために考えた活動でしたが，教員にも興味・やる気を引き起こす良い影響を与える結果となり，マラウイの学校現場に貢献出来たのではないかと思っております．リコーダーを受け取った際，現地の人々は**「新品の楽器だ」**ととても喜んでいました．Expressive Artsの授業を行う際，他の単元においても常々「物を大切に扱うこと」を繰り返し指導してきた私にとって，使用済みで何年も前のリコーダーが状態の良いまま届いたことは，実例・実感を通してモラル的教育にも効果があったのではないかと感じています．リコーダーの提供にご協力頂いた新潟の皆さまの多大なるご支援に，改めて感謝申し上げます．

（ 平成27年度1次隊・マラウイ共和国・青少年活動・村上市　中山 碧美 ）

【五】　講演会「メディアが伝えないミャンマーのいま」ご案内（当会共催）

11月23日・祝日（木）の14時より新潟テルサにおいて，フリーランス・フォトジャーナリストの宇田有三氏を講師にお迎えし，公開国際理解講演会**「メディアが伝えないミャンマーのいま」**を新潟県青年海外協力協会（協力隊OB会）との共催で実施致します．

ミャンマーは民政移管して政権も変わり，政治・経済において世界的に注目を浴びていますが，今もなお国内情勢は安定しておりません．今後は我が国との国際協力も盛んになっていくと思われ，JICAボランティアとしてはシニア海外ボランティアに加え，青年海外協力隊の派遣も最近始まりました．

宇田氏は長年ミャンマーにおける民主化運動，少数民族問題，ロヒンギャ問題などの現地独自取材を続けてきており，軍事政権時代からの同国の事情に精通しており，ミャンマーの歩みと「いま」を語って頂きます．

60席限定のため，定員になり次第締め切ります．お申し込みは当会事務局まで！（氏名，所属，電話番号を明記し，ファックス／Eメールにて）

（ 文・ポスター ： 山田 規央 ）

(Photo by Yuzo Uda)

- INFORMATION -

1. 平成29年度JICAボランティア秋募集のご案内

平成29年9月29日(金)～11月1日(水)の期間，青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア(20-39歳)，シニア海外ボランティア(40-69歳)の志願者の募集が行なわれます．応募に関する詳細は，下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認下さい．

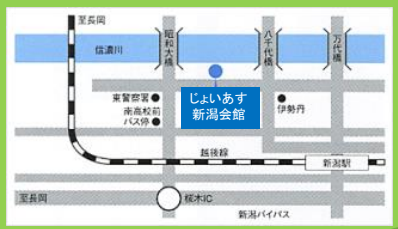
《体験談＆説明会》◆上越会場：平成29年10月12日（木）18：30～　上越市市民プラザ 第1会議室
◆新潟会場：平成29年9月24日（日）14：00～　新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」講義室A
◆長岡会場：平成29年10月21日（土）14：00～　長岡市国際交流センター「地球広場」

【お問い合わせ】JICA新潟デスク・北さん　Tel. 025-290-5650 / Fax. 025-249-8122，JICA公式HP　http://www.jica.go.jp

2. 平成29年度JICAボランティア家族連絡会のご案内

日時：平成29年12月9月(土)，13：30～（予定）
会場：じょいあす新潟会館　（新潟市中央区幸西3-3-1　☎025-247-9307）　⇒
内容：JICAボランティア事業説明，帰国隊員報告会，OVと留守家族の懇談
懇親会（17：15～，同会場にて，4,500円）　※お誘い合わせ可．

【お問い合わせ】当会事務局まで



3. 講演会「メディアが伝えないミャンマーのいま」(共催)のご案内

日時：平成29年11月23日・祝（木），14：00～16：30（13：30～受付）
会場：新潟テルサ　中会議室（新潟市中央区鐘木185-18　☎025-281-1888）　※入場無料・要申し込み（定員60人）
講師：宇田有三 氏（うだ・ゆうぞう／フリーランス・フォトジャーナリスト，神戸市在住）　参加希望者は当会事務局まで！

新潟県から派遣される新隊員の壮行会および新潟に帰国した隊員の慰労会は年4回（3月，6月，9月，12月）開催．案内はMLで配信！

（写真：山田 規央 ）

慰労会 ★ 壮行会

手ぬぐい販売中！（500円）

《広告料：年間1万円》
↓
・当会ホームページ
・「なじらね.jp」

協賛募集広告

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています！
金属加工のことならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社
〒955-0814
新潟県三条市金子新田1691-5
Tel. 0256-35-7460, Fax. 0256-35-7462
URL　http://www.abc-tool.co.jp

私達は協力隊応援団です！
果物のことは大野青果に！

新潟市中央卸売市場
大野青果 株式会社
代表取締役　大野 修
〒950-0114
新潟県新潟市江南区茗荷谷711
Tel. 025-257-6220, Fax. 025-257-6219

感動と夢，そして感謝

21世紀の生涯学習を推進する
株式会社アルファブライト
〒950-2012
新潟県新潟市西区小針台1-15
Tel. 025-234-1000, Fax. 025-234-1002
URL　http://alpha-bright.co.jp

県北からも，青年海外協力隊を応援しています！
ケーブル・ハーネス加工，電装品・制御盤の組立
株式会社 興栄電機
KOUEI Electric Co.,ltd.
〒959-3121
新潟県村上市佐々木577
Tel. 0254-62-5653, Fax. 0254-62-5650
URL　http://www.koueielectric.jp

電気が使える『あたりまえ』私たちが支えます．
電気工事，土木工事，とび土工，機械器具設置，消防設備工事
胎内電建工業株式会社
〒959-2657
新潟県胎内市江上966
Tel. 0254-43-5345, Fax. 0254-43-5389
URL　http://tainaidenken.com

静かな森と美しい庭園
新潟五頭温泉郷 村杉温泉 **環翠楼**
〒959-1928
新潟県阿賀野市村杉温泉
Tel. 0250-66-2131
Fax. 0250-66-2553
URL　http://kansuirou.jp

2018年版カレンダーを販売します！

●**仕様**：　A4版フルカラー14頁，壁掛け型
●**価格**（単価）：　700円，3部以上で500円
※送料は当会負担
●**購入方法**：　当会までお申し込み頂くか，直接お買い求めに来て頂きます．
詳しくは事務局（担当 渡辺）までEメールか電話にてご連絡下さい．

この半年間に当会の理事2名とお別れをしました．ご両人とも本県の偉大な協力隊OBであり，生前の多岐にわたるご活躍は「ミスター協力隊」と呼ぶに相応しい生き様であったと拝察します．先輩方の教えに恥じぬように，我々の活動を通して新潟の活性化に貢献していきたいと思っています．（พริกไทย）